



平成 26 年 1 月 31 日

各 位

会社名 富士紡ホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 中野光雄
(コード番号 3104 東証第一部)
問合せ先 取締役 吉田和司
(Tel. 03-3665-7612)

中期経営計画『邁進 14-16』について

富士紡ホールディングス株式会社(本社:東京都中央区、社長:中野光雄)は、2014 年度から 2016 年度までの当社グループ中期経営計画『邁進 14-16』を策定いたしました。

2014 年 3 月に終了します現中期経営計画『突破 11-13』では、計画期間の 3 年間で本格的業容拡大に向けた「成長軌道へのテイクオフ」期間と位置付け、①事業の成長加速 ②収益力あるニッチ No. 1 ③経営力の高度化 に取り組んで参りました。

今回策定いたしました中期経営計画『邁進 14-16』では、「成長軌道へのテイクオフ」に引き続き、「本格的業容拡大」に取り組み、2020 年のありたい姿として掲げております、売上高 1,000 億円、営業利益 100 億円超の「有機材料技術で未来を拓く、高付加価値創造企業」を目指して、成長戦略を加速して参ります。

新たな計画における経営目標は次のとおりです。

2020 年の「ありたい姿」達成に向け、「本格的業容拡大」に邁進するステージと位置付け、

- ①重点 3 事業の成長加速
- ②収益力あるニッチ No.1 企業へ
- ③第 4 の柱となる事業育成
- ④経営力の更なる高度化

を推進する。

これにより、2016 年度の連結業績目標(売上高: 600 億円、営業利益: 60 億円)の達成に向けて邁進してまいります。

中期経営計画の詳細につきましては、別紙(中期経営計画『邁進 14-16』)をご覧ください。

以 上

※ 当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいて作成したものでありますが、記載された将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

[本件に関するお問合せ先]

経営企画部 岡田

TEL : 03-3665-7602

E-Mail : mokada@fujibo.co.jp

中期経営計画『邁進 14-16』

(2014年度～2016年度)

2014年1月

富士紡ホールディングス株式会社

I. FUJIBO グループの企業理念

私たちは、一世紀を超える歴史の中で培った技術と経験を生かし、つねに時代が求める新しい技術・製品を提供することで先端産業を支え、人・社会・地球にとってより豊かな未来の創造に貢献し続けます。

II. FUJIBO グループの企業ビジョン

壁を破る、時代を拓く ～ メーカーとしての指針

伝統を尊重しながら、絶えず技術革新を追求。主力事業の競争力強化、成長市場での新事業創出など、つねに壁を打ち破るチャレンジを続け、人の暮らしと産業の発展に貢献する。

誠実な経営、終わりになき成長 ～ 経営の指針

財務体質、コーポレートガバナンス、リスクマネジメントを強化。社会的責任を自覚した健全な経営を目指し、持続的な成長を実現する。

個を尊ぶ、和を育む ～ 労働環境の指針

社員一人ひとりに公平な機会と公正な評価を与え、切磋琢磨して共に向上し合える環境を創造。個を尊重することで、競争力とチームワークが育つ職場を創る。

III. 2020年のありたい姿と新中期経営計画

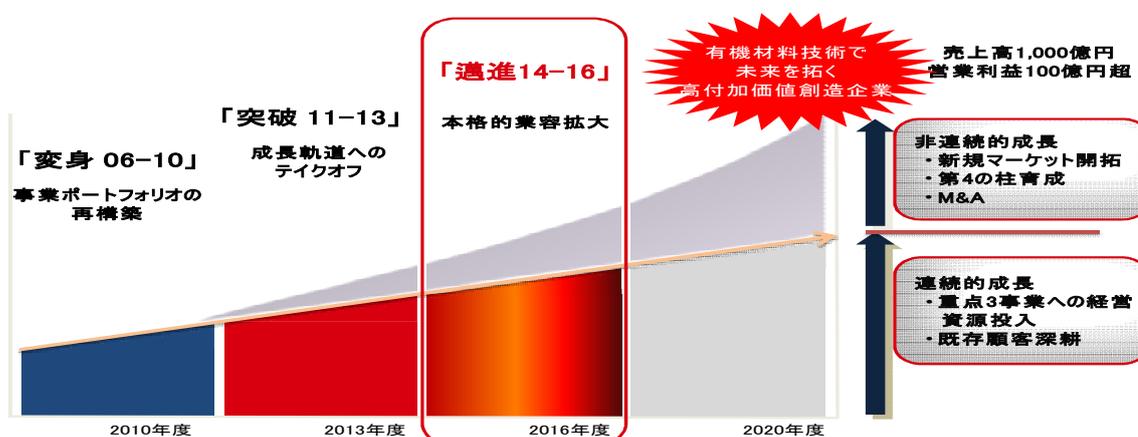
2020年のありたい姿

➢「有機材料技術で未来を拓く、高付加価値創造企業」

➢売上高1,000億円台、営業利益100億円超

新中期経営計画『邁進 14-16』

➢「本格的業容拡大」に邁進するステージと位置付け、「2020年のありたい姿」達成に向け、成長へのギアアップを果たす



IV. 経営目標

1. 2020年の「ありたい姿」達成に向け、「本格的業容拡大」を邁進するステージと位置付け、

- ①重点3事業の成長加速
- ②収益力あるニッチNo.1企業へ
- ③第4の柱となる事業育成
- ④経営力の更なる高度化

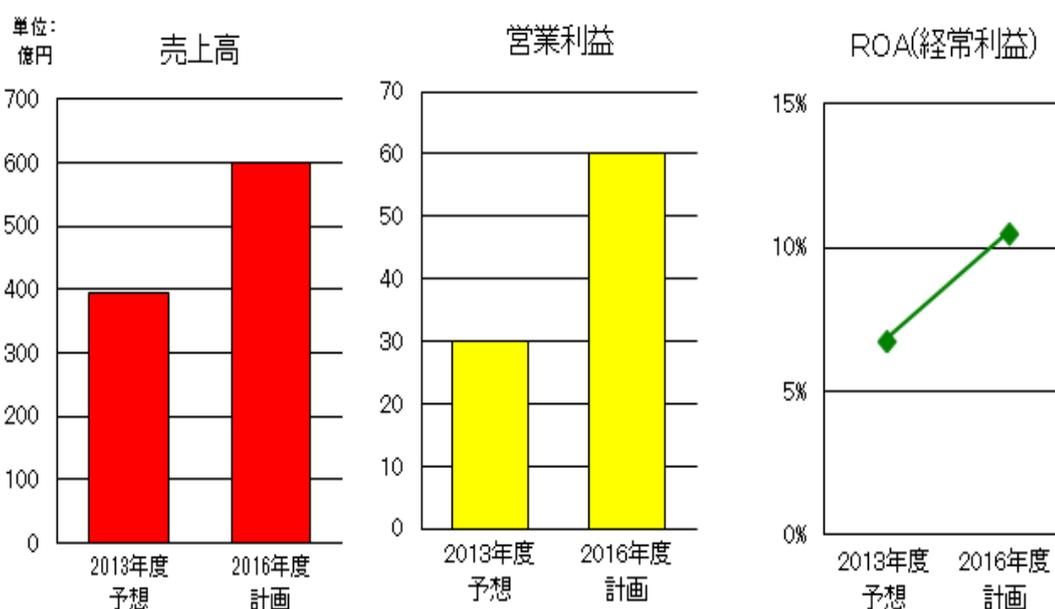
を推進する

2. 計数目標

【2016年度(2017年3月期)の連結業績目標】

	2013年度 予想	2016年度 計画
売上高 (中計 CAGR)	395億円 (3.1%)	600億円 (15.0%)
営業利益	30億円	60億円
EBITDA	47億円	81億円
当期純利益	17億円	35億円
ROA(経常利益)	6.8%	10.5%
ROE	7.7%	11.0%
D/E レシオ	0.26倍	0.30倍
自己資本比率	50.0%	55.0%

(注) CAGR: 年平均成長率 EBITDA: 営業利益+減価償却費



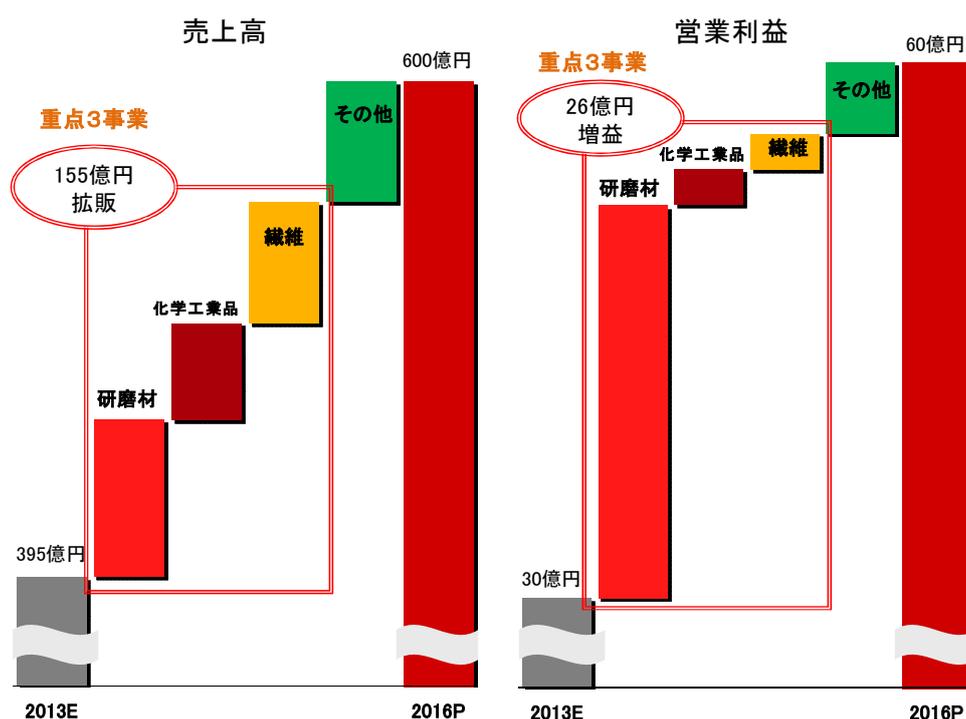
【セグメント別計数目標】

	売上高 (億円)		営業利益 (億円)	
	2013年度予想	2016年度計画	2013年度予想	2016年度計画
研磨材事業	95	160	21	43
化学工業品事業	90	130	4	6
繊維事業	160	210	4	6
その他事業	50	100	1	5
合計	395	600	30	60

V. 基本戦略

1. 重点3事業の成長加速

- (ア)売上高 中計増加目標+205億円、うち研磨材事業+65億円、化学工業品事業+40億円、繊維事業+50億円と、重点3事業トータルで+155億円拡大
- (イ)営業利益 中計増加目標+30億円、うち研磨材事業+22億円で増益の大半を牽引、化学工業品事業+2億円、繊維事業+2億円と、重点3事業トータルで+26億円拡大



2. 収益力あるニッチNo.1企業へ

①顧客ベースの拡大 ②既存事業の深耕 ③製品・機能・サービスの拡充 の3つの視点を軸とした戦略にもとづき、各事業・分野で「収益力あるニッチNo.1企業」を目指す

3. 第4の柱となる事業育成

その他事業で展開する化成品事業と貿易事業を、2020年に向けて第4の柱となる売上高100億円クラスの事業に育成してゆく

4. 経営力の更なる高度化

(ア) 経営資源の効率的活用

「ヒト」、「モノ」、「カネ」の経営資源の効率極大化

(イ) 事業戦略の実行支援

「ステークホルダー満足度向上」、「ガバナンス強化」、「コスト削減/効率化」、「成長への貢献」の4つの視点から、ホールディングス機能を活用し、各事業戦略の実行支援を行う

(ウ) 設備投資計画

14－16年度累計	
設備投資	79億円
うち研磨材事業	33億円
うち化学工業品事業	32億円
減価償却	61億円

(エ) 配当政策

安定的配当を継続し、利益水準により増配も

以上